

バーミンガム大学との共同研究の実施について

平成 28 年 10 月 11 日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、9 月 23 日イギリスのバーミンガム大学鉄道研究・教育センター(Birmingham Centre for Railway Research and Education、以下、BCRRE)と同大学において包括的共同研究協定書の調印を行いましたのでお知らせいたします。

1. 協定の趣旨

バーミンガム大学(所在地：イギリス、バーミンガム市)BCRRE と鉄道総研が、両機関の有する研究開発能力と研究資産を活かし、先進的・実用的な研究開発および人材の交流・育成に関して連携することによって、鉄道の発展および学術・技術の発展に資することを目的としています。

2. 共同研究協定締結の経緯

バーミンガム大学 BCRRE は、イギリス国鉄が有していた技術の一部を引き継ぐ形で鉄道技術に関する研究・教育に取り組んでいます。年間の予算は約 500 万ポンドで、研究分野は、車両空力特性、状態モニタリング、列車運行システム、気象防災、地盤土木、エネルギーマネジメント、ビッグデータ、環境、安全等、多岐に渡り、これまでに研究者間の交流を行ってまいりました。

今後も様々な分野での共同研究や人材交流をすることで、鉄道の更なる発展、および学術・技術の発展に資することを目的に、同センターとの間で海外の機関としては初めてとなる包括的共同研究協定を締結し、連携関係を強化することにいたしました。

3. 協定の概要

今回の包括的共同研究協定の枠組みで以下の事柄を実施いたします。

- (1) 共同研究の実施
- (2) 年次会合および共同研究セミナーの開催
- (3) 人材交流
- (4) その他本目的を達成するために必要な連携・協力

4. 実施する共同研究

今回締結した協定に基づき、両組織は次の 2 件の共同研究計画を実施いたします。

- ・ PC まくらぎの破壊解析手法とスマート材料の開発
- ・ 横風下を走行する車両に発生する空気力に関する研究

5. 協定に関する両者のコメント

バーミンガム大学 アンディ・スコフィールド教授：

「今回の協定書調印と日本からの友人来訪を心から歓迎します。本学および本学の鉄道研究・教育センターには重要国の客員研究員と交流してきた歴史があり、また鉄道総研はその鉄道研究が世界的に高く評価されており、今回の鉄道総研との協定書は私どもの戦略の重要な要素であります。私どもはこの協力が発展し両国の鉄道強化につながると考えております。」

鉄道総研 熊谷 則道：

「バーミンガム大学との今回の協定書調印は非常に喜ばしいものであり、両者の良好な関係が発展するものと考えております。英国は鉄道の発展に大きく貢献した国であり、一方、日本は本格的な旅客高速鉄道サ

ービスを開始した国です。鉄道の発展に貢献した両国を代表する鉄道研究機関がさらに緊密に連携することにより、今後の鉄道の発展と豊かな社会の実現に寄与することを期待します。」

6. 協定調印式

下記の要領で協定調印式を実施いたしました。

- (1) 日時：平成 28 年 9 月 23 日(金) 12:00～（現地時間）
- (2) 場所：バーミンガム大学アストン・ウェッブ館カーネギー会議室
- (3) 出席者(敬称略)：

鉄道総合技術研究所

理事長 熊谷 則道
理 事 渡辺 郁夫
国際業務部長 土屋 隆司
研究開発推進部担当部長 武内 浩一
鉄道力学研究部長 池田 充
環境工学研究部長 長倉 清

バーミンガム大学

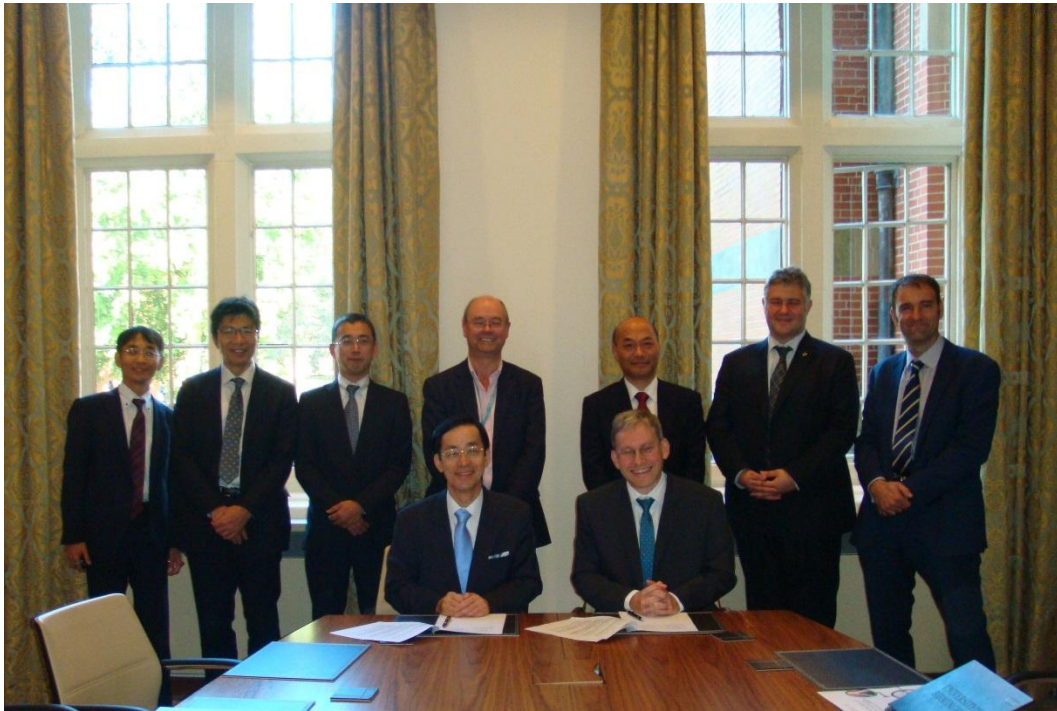
副学長兼工学・理工学部長 アンディ・スコフィールド
BCRRE 所長 クリーヴ・ロバーツ
BCRRE 国際鉄道アカデミー長 アンソン・ジャック
理工学部工学科長 マーク・スターリング

7. BCRRE について

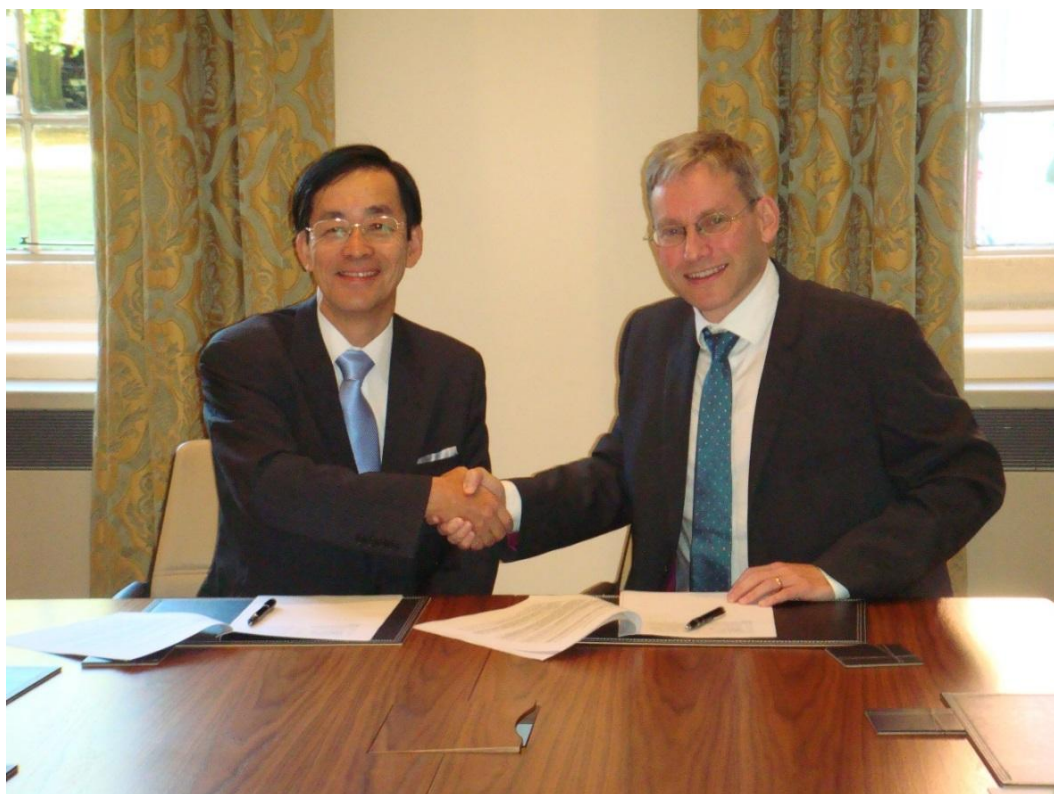
バーミンガム鉄道研究・教育センター(BCRRE)は約 130 名の、教員、研究者、プロフェッショナル・サポート・スタッフを擁し、鉄道における世界クラスの研究と考え抜かれたリーダーシップを発揮し、高品質の教育プログラムのラインナップを拡充しています。

8. InnoTrans

平成 28 年 9 月 20 日～23 日にドイツ・ベルリンで開催された InnoTrans2016 に鉄道総研、BCRRE、それぞれがブースを出展しました。9 月 21 日に BCRRE ブースにおいても、鉄道総研理事長熊谷、理事渡辺と BCRRE のクリーヴ・ロバーツ教授、アンソン・ジャック教授が出席し、今回の包括的共同研究協定のセレモニーを行いました。



調印式に出席したバーミンガム大学および鉄道総研関係者
前列左から鉄道総研理事長熊谷、バーミンガム大学アンディ・スコフィールド副学長
後列左から鉄道総研国際業務部長土屋、同鉄道力学研究部長池田、同環境工学研究部長長倉、
バーミンガム大学アンソン・ジャック教授、鉄道総研理事渡辺、
バーミンガム大学クリーヴ・ロバーツ教授、同大学マーク・スターリング教授



包括的共同研究契約書に署名した鉄道総研理事長熊谷(左)と
バーミンガム大学アンディ・スコフィールド副学長(右)



包括的共同研究契約の調印に併せてマネージメント会合を行い、今後の連携・協力の進め方に関する意見交換を行いました。今後の取組みの一環としてアニュアルミーティングを実施していくことが決められました。



InnoTrans 会場で行なわれたバーミンガム大学と鉄道総研の包括的共同研究協定のセレモニーでスピーチする鉄道総研理事長熊谷(右)と左からバーミンガム大学アンソン・ジャック教授、クリーヴ・ロバーツ教授